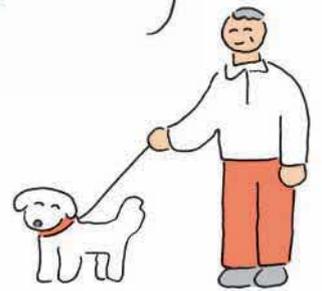
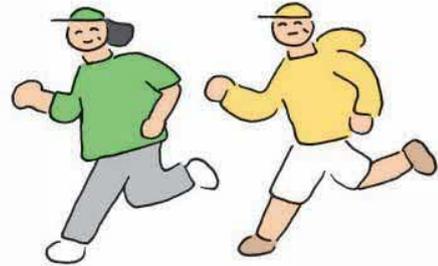




居心地のいい 歩いて楽しめる まちなか未来図



熊本市中心市街地ウォーカブルビジョン



WALKABLE
CITY
KUMAMOTO

熊本って、実は昔からウォーカブル

出かけたくなる、歩きたくなる。

ウォーカブル(Walkable)なまち

とは、どんなまち？

「歩ける・歩きやすい」という意味を持つウォーカブル。

あまり聞き馴染みのない言葉ですが、

まちづくりにおいては、「まちに出かけたくなる」「歩きたくなる」という意味も持っています。

車道から歩行者空間へと変わっていったまちなか

現在、歩行者空間としてにぎわっている上通・下通・新市街のアーケード街は、かつてはアーケードがなく車道として利用されていました。時代のニーズに応じて形を変え、まさに「ウォーカブル」な歩行者空間として整備された、熊本市の象徴的な場所です。



昭和初期
出典：(熊本百景) 最も繁華なる商店街、上通町筋
(熊本市歴史文書資料室所蔵)



令和7年(2025年)

熊本市が目指す「ウォーカブルなまち」を実現するための対応の方向性

つ
く
る

安心して
快適に過ごせる
まちなか

取組方針

人中心の
都市空間の整備

つ
か
う

多様な
過ごし方ができる
まちなか

取組方針

都市空間の
利活用促進

つ
な
ぐ

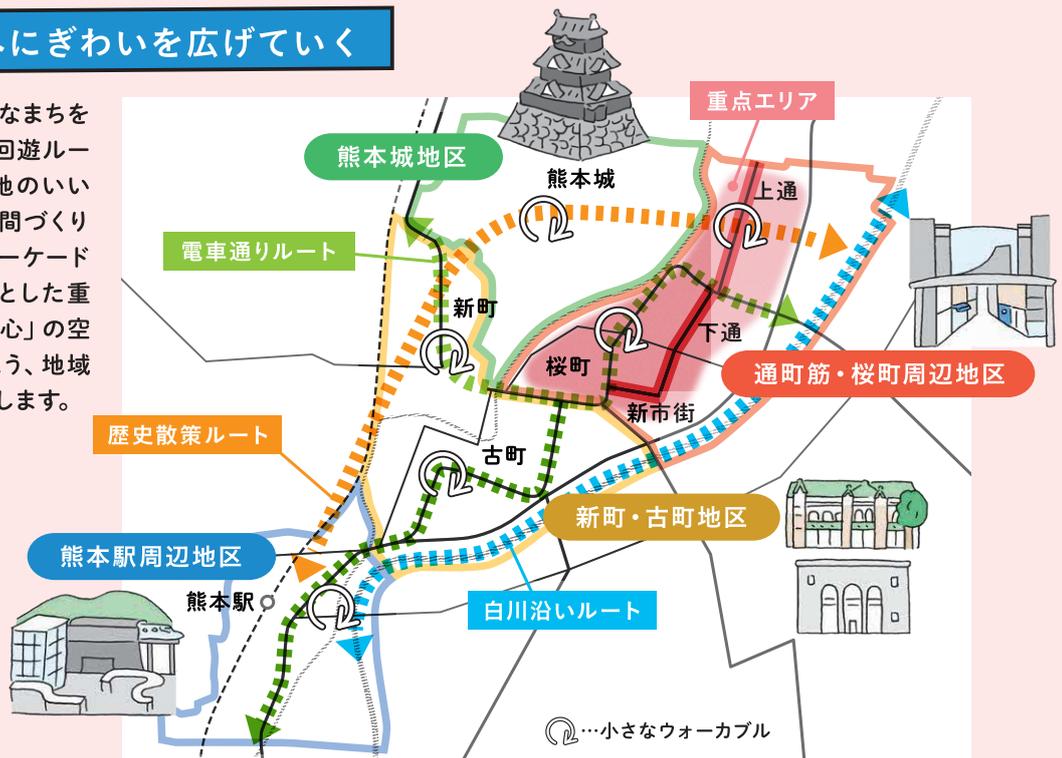
快適に
移動できる
まちなか

取組方針

多様な
移動手段の提供

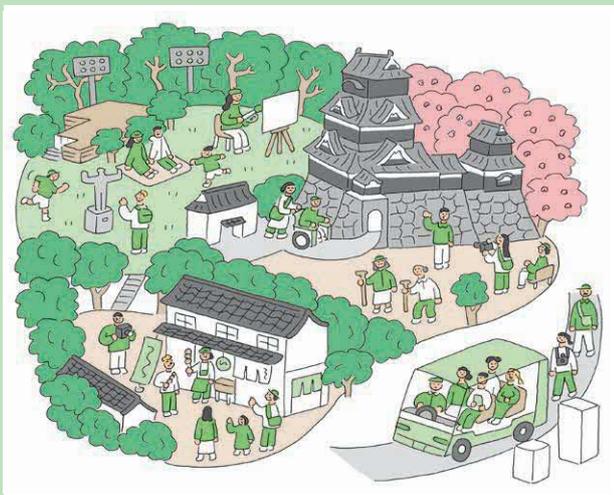
線から面へにぎわいを広げていく

さらにウォーカブルなまちを広げるため、3つの回遊ルートを中心に、居心地のいい歩行空間や滞在空間づくりを行います。またアーケード街や花畑広場を軸とした重点エリアでは「人中心」の空間を広げていけるよう、地域の方々とともに検討します。



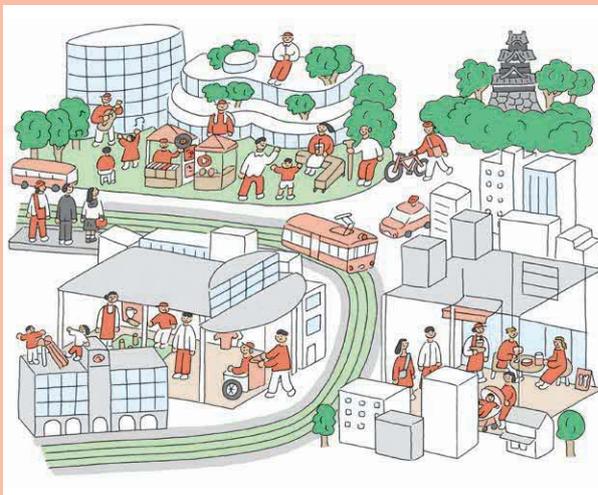
各地区のウォーカブルなまちのイメージ

熊本城地区



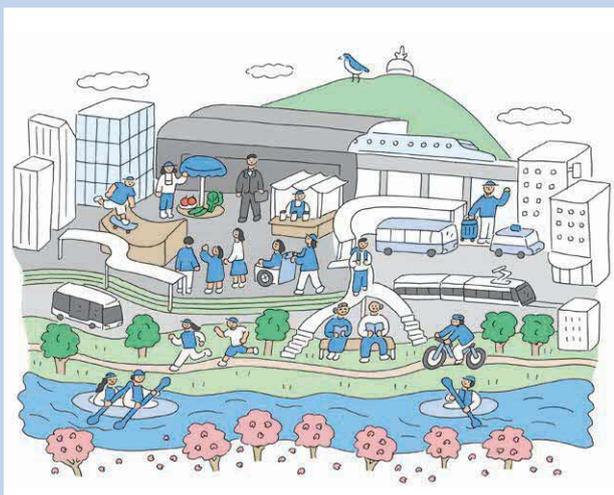
- 国内外からの観光客や市民が繰り返し訪れ、自然や歴史、文化にゆっくり触れられる環境やしかけづくり
- 各所の歴史的価値を分かりやすく伝え、体感できる空間演出や空間利用の工夫
- だれもが気軽に訪れ、楽しみながら回遊できるしかけや移動サービスの整備

通町筋・桜町周辺地区



- 小規模でも多様な過ごし方ができる居心地の良い空間の創出
- アーケード街や花畑広場を軸に、安全で快適に歩き、滞在できる歩行者空間の創出
- バスや電車の乗降環境・自転車の利用環境の整備、駐車場の総量と配置の適正化

熊本駅周辺地区



- 駅前広場を起点にした小規模な滞在空間や高揚感を感じさせる町並みの整備
- 白川や公園、緑地などの豊かな緑を保全し、野外活動の場として活用
- 公共交通の円滑な乗り継ぎ環境、エリア内外を結ぶ遊歩路、自転車などの低速移動サービスの利用環境の整備

新町・古町地区



- 屋外での住民の交流の場やこどもの遊び場などの滞在空間の創出
- まちの文化や歴史を感じながら巡り歩ける、町割りを活かした歩行環境の整備
- 電車通りに誰にも優しい電車・バスの乗降環境の整備と、エリアの新しい顔となる居心地良い遊歩空間の創出

あるくって、冒険だ。

あるくって、出会うこと。
 あるくって、進むこと。
 あるくって、つながること。
 あるく限り、世界は広がり、
 新しい物語がうまれていくんだ。
 そう、この瞬間からも。
 あるくって、冒険だ。



熊本市が目指す「ウォークアブルなまち」の姿



多様な人々が開かれた空間で居心地よく快適に過ごせるまち



住んでいる人

- いつも歩くみちが安全で
きれいで歩きやすいまち
- 車を使わなくても便利に
移動できて生活に必要な
モノが揃うまち
- マルシェなどでにぎわって
おり、地域の特産物などにも
ふれることができるまち



働いている人

- お昼休みは外に出てお弁当を
食べることができるまち
- 気分転換にオープンスペースで
テレワークできるまち
- 公共交通機関で通勤できるまち



観光している人

- 名所が様々な移動手段や歩いて楽しい
みちでつながっていて、巡りやすいまち
- 写真に残したくなる風景がたくさんある
まち



子ども・子育て世代

- 子どもが安全に遊べる場所があるまち
- 親同士のコミュニティが
うまれるまち
- ベビーカーでも移動しやすいまち



若者

- 外に集まって友達と勉強したり、雑談したり、意見交換したりできるまち
- 新しいことにチャレンジできるまち



障がい者

- 段差がなく障がいのある人も移動しやすいまち
- オープンスペースがバリアフリーになっていて使いやすいまち



高齢者

- 疲れたらすぐに休憩できるまち
- 仲間と公園で散歩や体操をして健康を保てるまち

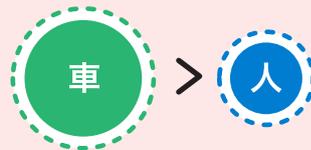
		ウ
実		オ
現	ま	ー
に	ち	カ
む	の	ブ
け		ル
て		な

実現までのストーリー

“車中心”から、 “人中心”のまちへ。



現在のまち



道路や駐車場などの
車のための空間が多い

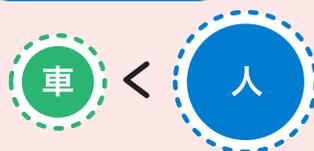
様々な社会的要因や取組により、少しずつ中心市街地に流入する自動車の量が減ったり、建替えにより空地が生まれたりする

空間に余裕ができる

人が居心地よく快適に過ごせる空間に作り変えていく

長い時間をかけて
少しずつ変えていく

未来のまち



自動車交通に
必要な空間を確保しつつ
人中心の空間に転換する

- このビジョンは、中心市街地活性化基本計画を実施計画として位置付け、進捗管理を実施します。
- 今後は、本ビジョンの実現に向けた意見交換の場を創出して、官民一体となって新たな取組を検討し、具体化した取組は中心市街地活性化基本計画への記載を提案し、中心市街地活性化協議会に意見を聴取したうえで、反映していきます。

熊本市中心市街地ウォーカーブルビジョンの詳細は、熊本市公式ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kumamoto.jp/kiji00358935/index.html>

熊本市 ウォーカーブルビジョン

検索